

## 各地域における取組事例

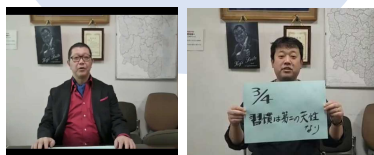
# 【小学校・中学校・高等学校の取組】

# 1

各学校・地域において様々な工夫・取組が進められています。各取組はあくまでも一事例に過ぎないため、学校・地域の実情に応じ適宜ご参考ください。

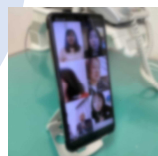
### 教員が日替わりで朝礼実施

- 動画配信サイトを活用し、毎日、教員のリレー形式で朝会を実施し、生徒とのコミュニケーションを図っている。視聴数も見ながら、生徒の閲覧状況をチェック。  
(神奈川県横浜市立中学校)



### オンラインPTA実行委員会を実施

- 学校休業中はより一層、学校と家庭・地域との連携が重要となるため、PTA実行委員会は、テレビ会議システムで実施。



### 家庭訪問では食事の摂取状況をしっかり確認

- 休業期間中、家庭訪問の実施の際には、
- ①食事を問題なくとっているか
  - ②安全に過ごしているか  
(感染等体調に問題はないか)
  - ③宿題などの学習状況を
- 確認するよう学校と共通認識を共有。必要なときは福祉的支援もできるよう、学校と緊密に連携。  
(大阪府泉南市教育委員会)

### 子供が家庭で挑戦できる簡単レシピを発信

- 栄養教諭が中心となり、小学生でも簡単に家庭で作ることができる料理や、保護者向けの常備菜などを、HPで多数紹介。
- 一か月間、「生活を学ぶ」「暮らしを楽しむ」チャンスと家庭に協力を呼び掛けている。  
(東京都目黒区立五本木小学校)

### 家庭でもできる運動を学校HP等で紹介



- 放課後や土日、休業中に、子供たちが家庭でも楽しく取り組める運動（エアロビクス）として活用できる動画をHP等にアップして、運動不足解消につなげる取組を推進中。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tai ryokutyousa/tairiyokutyousa19.html>



札幌市立学校ネットワーク



本校職員作成の「家でもできる体づくり運動～エアロビクス～」  
(札幌市教育委員会HPへとびます)

子供の学び応援サイト

生きる力



※自治体名等の記載がない取組は、複数類似の取組事例があるもの

## 各地域における取組事例

# 【小学校・中学校・高等学校の取組】

## 1

### 休業中の家庭学習や生活等のサポート事例等



テストをあらかじめ封筒に入れて配布し、指定した日に保護者が見守る中、自宅でテストを実施。



一週間ごとの課題プリントを準備し、月曜に配布。金曜に担任が家庭訪問し、健康観察とともに回収・翌週の分を配布。



学童で一日保育となった子供のために、学童から学習プリントの提供依頼があれば、学校で応じている。



休業明けの最初の登校日に学年末試験を実施予定とすることで、自宅学習する子供のインセンティブを付ける。



副教材費の残金で教材を購入。保護者に学校に取りに来て頂き、家庭学習の方法等について説明しながら配布。



休業に入る前までに準備し切れなかった休業期間の課題について、学校と家庭の緊急連絡メールを活用し、追加の課題等をメール送信し、家庭での協力を呼び掛けている。



各学校で保護者と学校間でやりとりするための無料メールサービスを導入し、「学習支援コンテンツポータルサイト」を紹介し、家庭学習の参考として活用を呼びかけ。



学校に残っている学用品の受け渡しを兼ねて、子供の生活の様子や健康状態を知るため、期間を設定して子供と一緒に担任がいる教室への訪問を保護者にお願いしている。

### 卒業式等の工夫

- 卒業式を中継し、参列できない保護者や在校生がオンラインで参加できるよう配慮。
- 在校生による合唱や吹奏楽部による演奏は、休業に入る前に事前に録音し、卒業式で流すことで卒業生を祝福。
- 教員の有志が楽器演奏し、参列者のいない卒業式を盛り上げる。

### 地域の防犯見守りメールで注意喚起

- 子供が一人で留守番する機会も増えるため、地域防犯メールで留守番する際の子供の安全対策を保護者へ案内。
- 同時に地域の見守りの雰囲気や普段以上に強化。  
(例)  
「玄関のチャイムが鳴っても返事をしない」「ドアチェーンを外さない」「配達物は受け取らない」など、今一度、お子様とご確認をお願いします。

### 警察と連携した子供の見守り体制の強化

- 教育委員会から警察に依頼し、子供が犯罪に巻き込まれないよう、繁華街等の子供が集まりやすい場所のパトロールを強化。



## 不登校の子供が 学校に慣れる機会に

- 休業で他の生徒がいないため、不登校の生徒が学校の場所に慣れる機会となるよう、登校支援をしている。
- まずは学校の雰囲気慣れてもらうために、本人の希望に応じて空き教室に登校してもらい自習をする等、休業の環境を活用している。



## 学校HPを活用した コミュニケーション

- 毎日HP上で問題を出し、最終日にこれまでのすべての出題された問題の答えをつなげると、先生からのメッセージになる。
- HPで教員から子供へのメッセージを発信。



## 教科書を廃棄しないよう家庭に連絡

- 新年度に前年度の未学習部分を補習するため、各家庭に教科書を廃棄しないよう、連絡メールでお知らせ。



## 養護教諭が学校と学童の コーディネータ役に

- 毎日養護教諭が学童の子供たちの健康観察とスタッフとの情報交換を実施。
- そこで得た情報を管理職や担任と共有して学校としても対応しており、養護教諭が学童と学校のコーディネータ役を果たしている。
- 学童の子供たちに感染症対策として手洗い指導等を行うほか、心の健康についても気を配っている。



## 市立小学校の先生から 児童へのメッセージを コミュニティFMで生放送

- 箕面市のコミュニティFM放送に、市立小学校の先生が出演し、メッセージやアドバイスを生放送で伝える。
- 放送した音声は、放送後2日以内にYouTubeチャンネルにアップされるので、聴き逃した場合やもう一度聴きたい場合でも改めて聴くことが可能。  
(大阪府箕面市)